



知床科学委員会 しんぶん

エゾシカ・ヒグマ ワーキンググループ NO.23



知床半島のエゾシカとヒグマの適切な管理について有識者から意見を伺う、エゾシカ・ヒグマワーキンググループ会議が釧路で開催されました(2021年度第2回:12月2〜3日)。
今回は5年に一度となるエゾシカとヒグマの管理計画の改定について話し合いました。

必見! TOPIC

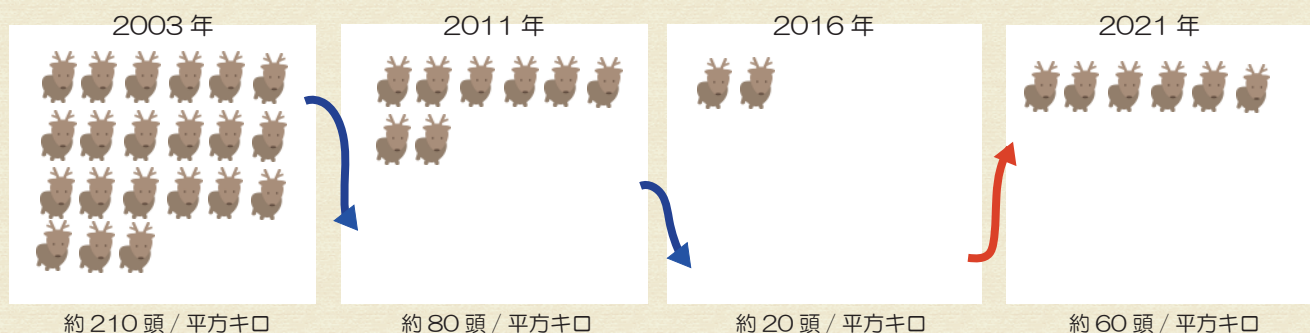
知床岬でエゾシカが急増?!

世界自然遺産地域内では、シカの生息状況を把握するため、ヘリコプターからシカの数进行数える調査を冬に行っています。

2021年2月の知床岬では、ヘリコプターからの発見頭数がこれまでの減少・横ばい傾向から一転、大きく増加しました。



知床岬エゾシカ発見頭数の推移



2007年に捕獲を開始して以降、順調に減少していた知床岬の生息数(発見頭数)について、2016年から2020年は横ばい傾向が続いていました。今回、大幅な増加が確認された理由として、周辺から知床岬へシカが移動してきたことや、自然増加数が捕獲数を上回っていたことなどが考えられます。植生の回復を確実に進めるため、知床岬でこれまで実施していなかった春から夏にかけての捕獲を行う予定です。

2021年に知床岬で確認された植物(例)



▲エゾノヨロイグサ



▲チシマアザミ

シカに食べられて咲けなかった花を見ることができるようになったんだね



知床国立公園における 利用の問題と解決にむけて

知床では、ヒグマを観察（撮影）するために利用者がヒグマに過度に接近する、ヒグマ出没時の路上駐車が交通障害の原因になるなど、観光客（利用者）とヒグマにかかわる問題を以前から抱えています。知床の魅力を高めながら、この問題を軽減するため、2019年と2020年の各3日間に知床オータムバスデイズを実施しました。この期間中、問題の発生は大きく減少しました。

ヒグマに過度に接近する行為は、ヒグマを刺激し、予期せぬ事故につながる可能性があります。知床半島ヒグマ管理計画では、利用者の問題行動に起因する危険事例の発生を抑制することを目標の一つに掲げています。5年間で12件以内を目指していました。2021年10月末時点で87件発生しました。発生した状況を見ると、ほとんどが国立公園内における観察（撮影）に伴うものでした。

ような取り組みが拡大できれば、知床の魅力を高めながら、状況の改善を図っていくことができると考えています。



▲ヒグマに接近して撮影（観察）



▲ヒグマを見るために発生する交通障害（クマ渋滞）

《知床オータムバスデイズとは？》

「移動を、サービスに。」をコンセプトにシャトルバスの運行を通じ、新たな観光の魅力を発掘しながら問題解決を図ろうとする試みです。

このイベント期間中は、マイカーを通行止めとし、シャトルバスでのみ国立公園内（道道93号線）を移動することができます。バス乗車中は、自然ガイド等の解説サービスを受けることができます。

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

URL：<https://sustainablefes.shiretoko.or.jp/busdays/>



●イベントのお知らせ

ヒグマ・エゾシカの“今”を最新の研究から考える！公開シンポジウムを開催します！

「野生の営みのダイナミクスに迫る～世界遺産シリエトクヒグマとエゾシカ」

2022年2月12日（土）13:30開演

北大学術交流会館小講堂およびZoomWebinar(同時配信)

主催：東京農工大学、道総研エネ環地研、北海道大学大学院獣医学研究院、知床財団

※本シンポジウムでは、環境研究総合推進費による3年間の研究成果を報告します。

詳細は

QRコードから



●エゾシカ・ヒグマWGの会議資料や議事録は知床データセンター (<http://shiretoko-whc.com/>) で公開しています。

■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所 〒085-8639 北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎4階 TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575